

- 「みなとオアシス 海のまち須崎」には、代表施設の「須崎大漁堂」をはじめ、「すさきまちかどギャラリー」、「暮らしのねっこ」、「須崎市立市民文化会館」、「川端シンボルロード」、「富士ヶ浜」、「JR須崎駅」があります。

須崎大漁堂 (代表施設)



旧銀行店舗を改修し、地元でとれる魚介類など、地域の食材を使った料理を味わうことができるカフェ、休憩可能なフリースペースを完備し、特産品・グッズの販売も行っています。また、各種パンフレット等による観光情報の提供を行っています。

すさきまちかどギャラリー



1916(大正5)年頃築といわれる塗屋造りの建物を活用した施設です。貸しスペースとして一般の利用も可能で、会議やワークショップなど、市民グループ等の文化活動の場となっています。また、歴史ある町並みの旧市街区や、自然豊かな新荘地区を楽しんでいただくため、レンタルサイクルも行っています。

暮らしのねっこ



“暮らすように滞在する”をコンセプトに須崎の滞在を居心地よく過ごして貰えるよう、調理場・調理器具が完備された施設となっています。一般の利用も可能な貸しスペースがあり、会議やワークショップなど、市民グループ等の文化活動の場となっています。須崎市周辺の美味しいものを取り揃えたカフェ(売店)があり、地元特産品や自然素材を使った商品を販売しています。

須崎市立市民文化会館



海のまちを象徴する港を眺望できる大型文化交流施設です。グランドピアノを保有し、反響板を使用してのコンサートでは豊かな残響が素晴らしいと様々なプレイヤーから絶賛されている多目的大ホールを持つ施設です。そのほかにも和室から大会議展示室まで様々な用途に合った活用が出来る施設となっています。

川端シンボルロード



東西約800メートル、幅20～30メートルの須崎のメインストリートです。小川が流れ、散歩道もあり、市民の憩いの場となっています。春は桜並木でお花見を楽しめ、冬には並木にイルミネーションが灯され、幻想的な空間を創出しています。また、新春恒例行事となっている海のまちを走り抜けるロードレース大会ではメインコースとなっています。

富士ヶ浜



天然の良港に恵まれた須崎湾は、風光明媚な海浜で、沖から遠望すると富士山のように美しい浜から富士ヶ浜と名づけられています。毎年8月第1週末に行われる富士ヶ浜での花火大会は、立地を活かした海上仕掛け花火、四国最大級の二尺玉花火が打ちあがるなど、見る人に感動を与え、たくさんの人で賑わっています。また、湾内にある穏やかな海岸は、投げ釣りでキスやチヌなどが釣れる絶好のポイントです。

JR須崎駅



高知の鉄道発祥の地であるということから、世界鉄道の発祥の地である英国風の外観の駅舎をイメージして改装されました。三角屋根の裏側等にはイギリスから取り寄せた、オルや船など海にちなんだオブジェが飾られています。また、跨線橋やホームの柱には古レールが利用されており、ノスタルジックな雰囲気を感じさせてくれます。観光列車“志国土佐 時代の夜明けのものがたり”の停車の際は、地元団体による“19分劇場”と命名された、和太鼓や日本舞踊などのおもてなしが実施されています。